

株式会社丸昌

外部のOB人材・専門人材が事業を支える 近年は内部人材の育成にも注力

事業内容

医療・宿泊施設向けの寝具製造・販売が主力 中国現地工場での生産力と品質面が強み

業務用寝装寝具の製造・販売および介護用品販売・レンタルを行っている。取扱う縫製品は、シーツを主体に枕カバー・布団カバーなどのカバーリング資材、タオル、布オシメ、防水シーツ、ベッドパット、病衣・患者衣等である。

自社で製品を企画開発した上で生産の大半は関係会社である中国現地法人(安丘芳榮縫製有限公司)および中国内の協力工場で生産している。現地工場は、150名を擁する生産体制により迅速な対応が可能で、工場が山東省にあるため青島経由の配送となり、結果的に小ロット・短納期が実現できる体制を構築している。また、国内大手繊維メーカーの制菌・防災生地を利用した製品を製造

しており、これらも品質面で同社の強みとなっている。

医療向けが全体の6割程度を占め、残りはホテル・旅館向けなどとなっており、リネンサプライ、寝具リース業者を経由して利用されている。



業務用寝装寝具製品

外部人材活用・人材投資に注力した背景

大手企業のOB人材がピンチを救う 新たに中国工場を任せられる人材を外部から調達

同社が販売しているシーツなどの縫製品の大半は関係会社の中国工場で生産されている。中国工場では、香港国籍の現地人材と雇用契約を結び、工場長として現地工場を管理・運営してもらっていたが、一身上の都合により工場長を辞めざるを得ない状況となった。

その時に中国工場の工場長として手を挙げてくれたのが、大手化学メーカーで海外経験を豊富に有する大手企業のOB人材であった。防災シーツを共同で開発したことがきっかけで、大手化学メーカーを退職後、入社してもらい業務全般のアドバイスをもらっているところだった。

経験豊富な大手企業のOB人材のおかげで一時的には助かったものの、新たに中国工場の工場長探しは続けていかなければならない。そこで、プロフェッショナル人材活用促進助成金を使って、人材紹介会社から中国語が堪能な日本人を数人紹介してもらった。採用の決め手は、繊維に関する専門的な知識よりも中国語による高いコミュニ

ケーション能力があるかどうかを基準とした。繊維に関する知識は業務に携わる中で、自然と身につくものであるが、中国語のレベルは簡単に上がるものではないと考え、中国語による高いコミュニケーション能力を重視した。選考の結果、20年以上中国に在留している日本人を採用し、中国工場を任せることとなった。



株式会社丸昌オフィスおよび当社製品

株式会社丸昌

〒641-0004 和歌山県和歌山市和田115
TEL: 073-471-3768 FAX: 073-472-9519
<http://marusho-net.com>

〈代表者名〉 辻 茂治
〈創業年月〉 昭和48年4月
〈資本金〉 10,000千円
〈従業員〉 37人
〈業種〉 寝装寝具類の製造販売

外部人材活用の成果と今後の展開

プロフェッショナル人材が事業の支えに 社内人材のスキルアップ、社員参画型経営の仕組み化に注力

同社の中国の現地工場に関しては、海外での豊富な経験を有する大手企業のOB人材ならびに中国語が堪能なプロフェッショナル人材によって支えられてきた。「一地方の中小企業では、新卒採用した人材に投資をしてプロフェッショナル人材にまで育て上げるのは難しく、外部の力に頼らなければなかなかやっていけない」と代表の辻氏は話す。

また、プロフェッショナル人材の採用となると、高額な人材紹介手数料を払わなければならないが、補助金によりその一部を負担してもらえて助かったという。人材採用の面で政策的な後押しがあると、話も前に進めやすいようだ。

ただ、外部のプロフェッショナル人材を活用できている反面、活用が上手くいかなかった事例もある。採用する相手がプロフェッショナルな人材だけあって、条件が良い会社があれば短期間で退社してしまうケース、英語が話せて繊維に詳しいが仕事先である異国の文化に馴染めず期待したパフォーマンスを上げられなかったケースもある。高い報酬で高いパフォーマンスを期待するが、必ずしも良い結果が得られるとは限らない。

今後人材面では、事業がグローバル化してきていることを受けて、従業員の英語教育にも注力していく予定。外部研修にも積極的に参加させ、さらなるスキルアップを目指す。さらに、若手社員が企業経営の諸施策に関して具体的提言を行うためのジュニアボード(擬似役員会)を設置。同社の今後の事業展開を考える機会も積極的に作っている。

今後の事業展開に関しては、インバウンドにより外国人観光客が増加していることに加え、東京オリンピック・パラリンピックも控え、都市部を中心に宿泊施設の新規立地が相次いでいる。きめ細かな営業活動を行うことで、寝具関係の需要を取り込んでいきたいとしている。病院や福祉関連施設向けには制菌を施したシーツの販売にも力を入れていく。また、新製品として、マタニティ関連の製品を本格的に供給していく予定である。



当社のECC研修